

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-82	高等学校	国語	言語文化	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	言 文 717	探求 言語文化		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「言語文化」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「言語文化」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

①指導しやすい単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう、「古文編」「漢文編」「近代以降の文章編」の3部構成とした。「古文編」「漢文編」はジャンル別単元とした。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の本文の前に「本文スコープ」を設定し、本文読解の手がかりとなる着眼点を掲げた。また教材末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けた。そのほか、言葉の特徴や使い方、言語文化に関する知識の学習に資するため、「古文編」では重要古語を、「漢文編」では基本句形を、各教材の本文下段にまとめた。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
●古文編 古文編導入文	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編導入文として「古典と文化・古文と古語」を設けた (第5号)。	①8~9
●古文編 5単元 (35教材)	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、古文編に5単元を設け、古文の多彩な表現に触れられる35教材を配した (第5号)。 ②先人の感性を通して、自然と人間のあり方に目を向ける教材「徒然草 花は盛りに」を配した (第4号)。	①10~116 ②38~41
●古文編 「文法の基礎」1~3 「文法の要点」1~4	①伝統と文化を尊重する態度を養い、文語の決まりや言葉の成り立ち、表現の特色などへの理解を深められるよう、古文編に「文法の基礎」1~3および「文法の要点」1~4を設けた (第5号)。	①13~15 ・20~21 ・28 ・117~124

●漢文編 漢文編導入文	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、漢文編導入文として「漢文を学習するということ」を設けた（第5号）。	①126
●漢文編 5単元（36教材）	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、漢文編に5単元を設け、漢文の多彩な表現に触れられる36教材を配した（第5号）。 ②自主および自律の精神を養い、人生について考えを深められるよう、「思想」単元を設け、「論語」「孟子」の教材を配した（第2号）。	①127～198 ②184～192
●漢文編 「漢文の基礎」 「漢文の要点」1・2	①伝統と文化を尊重する態度を養い、訓読の決まりや言葉の成り立ち、表現の特色などへの理解を深められるよう、漢文編に「漢文の基礎」および「漢文の要点」1・2を設けた（第5号）。	①127～135 ・199～202
●漢文編 松浦友久「友情」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、漢文を現代からの視点で読み解く教材「友情」を配した（第5号）。	①172～177
●近代以降の文章編 「近代の小説」 （3教材）	①正義と責任、自己と他者との関係について考えを深められるよう、「近代の小説」単元を設け、多彩な内容を持つ3教材を配した（第3号）。	①204～239
●近代以降の文章編 「近代の文体」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、明治期の小説の文体に着目させる教材「文体の変遷」を配した（第5号）。	①240～244
●近代以降の文章編 「伝統と文化」港千尋 「場所の記憶を残す恋歌」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、歌枕を用いた恋歌に込められた意味を読み解く教材「場所の記憶を残す恋歌」を配した（第5号）。	①245～251
●近代以降の文章編 「近代の短歌・俳句」	①幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培えるよう、「近代の短歌・俳句」単元を設け、多彩な表現に触れられる教材を配した（第1号）。	①252～257

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「古文編」「漢文編」に「コラム（1～9）」を設けた。（「古文編」29、56～57、61、72、90～91、110～111、「漢文編」147、183、193）
- ・本文から見えてくる当時の世界観を解説した「古典世界ビュー」を、「古文編」に7つ、「漢文編」に5つ設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-82	高等学校	国語	言語文化	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	言 文 717	探求 言語文化		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、教材間に「文法の基礎」「文法の要点」「漢文の基礎」「漢文の要点」「コラム1～9」を、巻頭巻末に「付録」を設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数			
編	単元		教材名	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B	
古 文 編	古 文 入 門	古典と文化・古文と古語	8～9	(1)ア			—	—	
		児のそら寝〔宇治拾遺物語〕	10～12	(2)ウ		(1)アイ		1	
		●文法の基礎1	13～15	(2)ウ				—	—
		検非違使忠明のこと〔宇治拾遺物語〕	16～17	(2)ウ		(1)アイ		1.5	
		大江山〔十訓抄〕	18～19	(2)ウ		(1)アイ			
		●文法の基礎2	20～21	(2)ウ				—	—
		花盗人の歌〔沙石集〕	22～23	(2)イウ		(1)アイ			1
		鷹使いの見た夢〔沙石集〕	24～27	(2)イウ	(1)アイ			1	
		●文法の基礎3	28	(2)ウ				—	—
	〔コラム1〕古文はタイムマシンだ	29	(1)ア(2)エ				—	—	
	◇古文解析の実際 海賊の感泣〔十訓抄〕	30～31	(1)ウ(2)ウ			(1)ア		1	
	随 筆 と 日 記	徒然草 つれづれなるままに	32	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ		1	
		徒然草 ある人、弓射ることを習ふに	33～33	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ			
		徒然草 奥山に猫またといふもの	34～35	(1)ウ(2)ウ		(1)ウオ		1	
		徒然草 丹波に出雲といふ所あり	36～37	(1)ウ(2)ウ		(1)ウオ			
		徒然草 花は盛りに	38～39	(1)ウ(2)ウ			(1)エオ		1
		◇比較で深める 兼好法師が詞のあげつらひ〔玉勝間〕	40～41						
		枕草子 春はあけぼの	42～43	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ			1
		枕草子 ありがたきもの	44～45	(1)ウ(2)ウ	(1)アイ			1	
枕草子 九月ばかり		46～47	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ			1	
土佐日記 門出		48～50	(1)ウ(2)イウ	(1)アイ			1		
土佐日記 かしらの雪	51～52	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ			1		
土佐日記 帰京	53～55	(1)ウ(2)ウ		(1)ウオ			1		
〔コラム2〕うなぎ屋さんの「うふぎ」—変体仮名の話—	56～57	(2)エオ				—	—		

図書の構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数		
編	単元	教材名		知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B	
古文編	物語と軍記	竹取物語 なよ竹のかぐや姫	58～60	(1)ウ(2)ウ		(1)エオ		1	
		[コラム3] 「語り」の文学	61	(2)ウ			—	—	
		竹取物語 かぐや姫の嘆き	62～64	(1)ウ(2)ウ		(1)アウ		1	
		伊勢物語 芥川	65～67	(1)ウ(2)ウ		(1)イオ		1	
		伊勢物語 東下り	68～71	(1)ウ(2)イウ		(1)イウ		1	
		[コラム4] 「伊勢物語」のパロディー	72	(2)イ				—	—
		伊勢物語 筒井筒	73～75	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ		1	
		伊勢物語 梓弓	76～77	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ		1	
		伊勢物語 小野の雪	78～79	(1)ウ(2)ウ		(1)アイ		1	
		平家物語 祇園精舎	80～81	(1)ウ(2)ウ		(1)エオ		1	
		平家物語 木曾の最期	82～89	(1)ウ(2)ウ		(1)イオ		1	
		[コラム5] 物語と「むかし」	90～91	(1)ア(2)エ				—	—
	和歌と俳諧	万葉集	92～94	(1)オ(2)ウ		(1)エオ		1.5	
		古今和歌集	95～96	(1)オ(2)ウ		(1)エオ			
		新古今和歌集	97～101	(1)オ(2)ウ		(1)エオ			
		奥の細道 旅こそ栖	102～104	(1)ウ(2)イウ		(1)ウオ		1	
		奥の細道 那須野の少女	105～106	(1)ウ(2)ウ		(1)イオ		1	
		奥の細道 平泉懐古	107～109	(1)ウ(2)ウ	(1)アイ		1		
		[コラム6] 蛙は古池に飛び込まない	110～111	(1)ア(2)イ				—	—
	翻案	簾史と弄玉〔唐物語〕	112～113	(2)ア		(1)イエ		1	
		怪を語れば怪至る〔伽婢子〕	114～116	(2)ア		(1)エオ		1	
		●文法の要点1 (助動詞)	117～119	(2)ウ				—	—
		●文法の要点2 (助詞)	120～121	(2)ウ				—	—
		●文法の要点3 (敬語)	122～123	(2)ウ				—	—
		●文法の要点4 (和歌の修辞)	124	(1)オ(2)ウ				—	—
	漢文編	漢文入門	漢文を学習するという事	126	(1)ア(2)ア			—	—
●漢文の基礎			127～135	(2)ウ				1	
推敲〔唐詩紀事〕			136～137	(1)ウ(2)アイウ		(1)アイ		1	
漁父之利〔戦国策〕			138～139	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ			
知音〔呂氏春秋〕			140～141	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ			
朝三暮四〔列子〕			142～143	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		1	
塞翁馬〔淮南子〕			144～146	(1)ウ(2)アウ	(1)アイ		1		
[コラム7] 故事成語に親しもう			147	(1)ア(2)ア				—	—
◇漢文解析の実際			148～149	(2)ウ		(1)ア		1	
史伝		鶏口牛後〔十八史略〕	150～151	(1)ウ(2)アウ		(1)アオ		1	
		鶏鳴狗盗〔十八史略〕	152～155	(1)ウ(2)アイウ		(1)アオ		1	
		管鮑之交〔史記〕	156～158	(1)ウ(2)アウ		(1)アオ		1	
		臥薪嘗胆〔十八史略〕	159～161	(1)ウ(2)アウ		(1)アオ		1	

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数		
編	単元		教材名	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B
漢 文 編	詩 文	絶句（杜甫）	162	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		1
		登鸛鶴楼（王之涣）	163	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		
		早発白帝城（李白）	164	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		1
		送元二使安西（王維）	165	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		
		楓橋夜泊（張継）	166	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		
		涼州詞（王翰）	167	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		
		登岳陽楼（杜甫）	168	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		1
		送友人（李白）	169	(1)ウ(2)アウ		(1)アイ		
		八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九（白居易）	170	(1)ウ(2)アウ			(1)イエ	
		◇比較で深める「聞白楽天左降江州司馬」（元稹）	171	(1)ウ(2)アウ				1
		【古典の魅力—現代からの視点】友情	172～177	(1)ウ(2)イ		(1)エ		
		雑説（韓愈）	178～179	(1)ウ(2)アウ		(1)ウエ		1
		愛蓮説（周敦頤）	180～182	(1)ウ(2)アイウ		(1)ウエ		1
		【コラム8】漢字はどこまで簡単に？—中国の簡体字	183	(2)アエ				—
	思想	論語	184～189	(1)ウ(2)アイウ		(1)イオ		1
		孟子	190～192	(1)ウ(2)アウ		(1)イオ		1
		【コラム9】孔子とその弟子	193	(2)アエ				—
	日 本 の 漢 文	読家書（菅原道真）	194	(2)ア		(1)イオ		1
蚩（菅茶山）		195	(2)ア		(1)イオ			
無題（夏目漱石）		196	(2)ア		(1)イオ			
野中兼山（原念斎）		197～198	(2)アイ		(1)イオ			
	●漢文の要点1（主な句形）	199～201	(2)ウ				—	—
	●漢文の要点2（漢詩の修辞）	202	(2)ウ				—	—
近 代 以 降 の 文 章 編	羅生門	204～216	(1)イエ(2)エカ				5	
	◇比較で深める「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人のこと」	217～219			(1)エオ			
	蠅	220～230	(1)イエ(2)カ		(1)アオ		5	
	猿が島	231～239	(1)イエ(2)カ		(1)ウオ		5	
	文体の変遷	240～244	(2)オ		(1)ウエ		5	
	場所の記憶を残す恋歌	245～251	(1)イエ(2)カ	(1)アイ			1	
	近代の短歌八首・近代の俳句八句	252～257	(1)アオ	(1)アイ			1	
							7	63
							総計	70